

薩摩青雲丸

鹿児島水産高校
薩摩青雲丸
第一次航海
指導教官

遠洋航海から沿岸航海へ

遠洋マグロ延縄操業実習を終えて

六月十一日、約一カ月に及んだ遠洋航海実習を終え、枕崎へ帰港しました。食糧補充および燃料補給後、十三日再び沿岸航海実習へと出発しました。

漁業実習

五月十七日から開始された遠洋マグロ延縄実習は三十一日に千秋楽を迎えました。全員ケガもなく、実習生たちは皆やり終えた達成感を感じて14回の操業実習を終えることができましたようです。



海洋技術科1年生の肥後愛翔くんが撮影した奇跡の一枚
〓6月4日 本船船橋より

絶海の奇岩「孀婦岩」 東京ロストワールド

東京の南約650キロメートル、鳥島の南約25キロメートルに位置する標高99メートル、東西84メートル、南北95メートル、面積9,000平方キロメートルの顕著な黒色孤立突岩。山体の大部分は海面下にあり、地塊は東西約30キロメートルにわたる。周囲にはわずかな大陸棚が広がっているが、すぐに2,500mほどの深海につながっている。周辺は航海の難所ながら、豊かな漁場として伊豆・小笠原漁民にも知られる。また、高い透明度と豊富な魚影からスキューバダイビングの聖地とされる。

クロカワカジキとデッキにて
〓五月三十日



操業実習中は乗組員の指導を受けながら時より冗談も飛び交う中で、作業実習に当たる場面もみられました。さすがは目的意識の高い専攻科生、本科生の時とは見違えるほど意欲的に漁業実習に取り組みました。六月六

釣り体験

三崎港にて本船より水揚げされるマグロ
〓6月6日



日には神奈川県三浦市三崎港に入港し、漁獲されたマグロの水揚げ作業を行いました。翌日は終日自主研修とし、久しぶりの上陸となった生徒達は観光したり、お土産を買いに行ったり、それぞれで満喫した様子でした。

ニューフェイス 新乗組員の紹介

薩摩青雲丸の厨房にて
〓6月10日



佐尾亮太（さおりょうた）
▼司厨員▼年齢▼35歳
趣味▼ドライブ・カメラ

経歴▼東京の知る人ぞ知る某有名高級料亭で修業を積んだ後、数々の飲食店で舌の肥えた食通を唸らせてきた。行列のできる人気居酒屋の店長を務めるなど一流の経歴を持つプロの料理人▼本船司厨長の片腕として腕をふるう一方、ひょうきんな性格で船内の人気者▼得意料理▼ふぐ料理

指導教官の目

怪我や病気もなく実習前半を終えられたことに、ひとまず安堵しております。実習は当初の計画どおり順調に進んでいます。本日、枕崎を出港後、関門海峡航路実習を皮切りに瀬戸内海・東京湾まで、国内主要航路を網羅する沿岸航海実習が始まります。引き続き、安全第一で実習生の指導・管理にあたっていきますので、どうぞご安心ください。



20歳超のカンパチを囲んで
記念撮影〓6月4日